

(様式－３)

関東地方整備局

調査の実施内容

工事名：千代田石岡ＢＰ改良（７）工事

工事を実施した業者名、住所：鈴縫工業（株）

茨城県日立市城南町１－１１－３１

項 目	内 容
１ その価格により 入札した理由	・ 当工事を受注することにより、待機社員の有効活用と技術取得・継承、また、協力会社にも確実に仕事の発注が可能となります。 ・ 現場技術者は地元でもあり、労務協力業者も通勤可能な会社を選定。資材購入も当社関連会社より安価で購入でき、品質を確保しつつコスト縮減を図れます。 ・ 当該工事の現場管理費及び一般管理費等において、経費等不足が生じた場合、本社経費より補填いたします。 ・ ２０年度末まで、千代田石岡ＢＰ（２）（３）工事を施工しておりましたので、現地の状況は熟知しており施行計画に生かせると思います ・ 半径３０ｋｍ圏内につくば支店、水戸営業所が有り、各種支援体制は整っております。 以上の理由に基づき、品質・安全管理に十分努力し、設計図書に基づいた物件のお引き渡しをお約束いたします。
２ 契約対象工事付近 における手持工事 状況	該当なし
３ 契約対象工事に 関連する手持工事 状況	該当なし
４ 契約対象工事箇所 と入札者の事業所、 倉庫等との関連	・ 入札者の会社は契約対象工事箇所から約６０ｋｍの距離にある。また倉庫はつくば市内にあり、契約対象工事箇所から約１３ｋｍの距離にある。
５ 手持資材の状況	（資材名） （手持ち数量） （本工事での使用予定量） 手持資材なし
６ 資材購入先及び 購入者と入札者の 関係	（資材名） （購入先） ・ ＰＣ壁体 A社 ・ 擁壁工（異形構鋼等） B社 ・ RC-40, M-40 C社 ・ 再生密粒度As D社

	・排水構造物 (U型側溝等)	E 社
	・アスファルト乳剤	F 社
	・防護柵	G 社

項 目	内 容		
7 手持機械の状況	該当なし		
8 労務者の具体的 供給見通し	掘削工 一般運転手 2 8 0 人 C 社 特殊作業員 2 人 C 社 特殊運転手 5 9 人 C 社 路体盛土工 一般運転手 1 1 1 人 C 社 特殊運転手 3 8 人 C 社 普通作業員 2 7 人 C 社 法面整形工 土木一般世話役 4 人 C 社 特殊運転手 6 人 C 社 普通作業員 9 人 C 社 P C 壁体工 一般運転手 1 3 人 C 社 とび工 4 2 人 A 社 軽作業員 2 8 人 A 社 設備機械工 1 7 人 A 社 土木一般世話役 5 5 人 A 社 特殊運転手 1 1 4 人 A 社 特殊作業員 5 3 人 A 社 普通作業員 5 2 人 A 社 溶接工 6 4 人 A 社 笠コンクリート 型枠工 2 6 人 H 社 土木一般世話役 9 人 H 社 特殊作業員 6 人 H 社 普通作業員 2 5 人 H 社 関知ブロック積 型枠工 3 人 H 社 土木一般世話役 1 人 H 社 特殊作業員 3 人 H 社 普通作業員 3 6 人 H 社 石工 8 人 H 社		

プレキャストカルバート工		
土木一般世話役	1 人	H社
特殊作業員	1 人	H社
普通作業員	1 人	H社
作業土工		
特殊運転手	4 人	H社
特殊作業員	6 人	H社
普通作業員	17 人	H社
側溝工		
型枠工	1 人	H社
土木一般世話役	1 人	H社
特殊作業員	1 人	H社
普通作業員	1 人	H社
天端排水施設工		
型枠工	1 人	H社
土木一般世話役	1 人	H社
特殊作業員	1 人	H社
集水桝・マンホール工		
型枠工	9 人	H社
土木一般世話役	3 人	H社
特殊運転手	1 人	H社
特殊作業員	1 人	H社
普通作業員	10 人	H社
アスファルト舗装工		
土木一般世話役	1 人	H社
特殊運転手	2 人	H社
特殊作業員	6 人	H社
普通作業員	9 人	H社
防護柵工		
型枠工	2 人	G社
土木一般世話役	1 人	G社
特殊運転手	1 人	G社
特殊作業員	1 人	G社
普通作業員	2 人	G社
防護柵撤去工		
特殊運転手	1 人	G社
普通作業員	1 人	G社
構造物取壊し工		
土木一般世話役	20 人	H社
特殊運転手	45 人	H社

	特殊作業員 6 人 H社 普通作業員 3 3 人 H社 運搬処理工 一般運転手 1 2 人 C社 工事用道路工 特殊作業員 1 人 H社 普通作業員 1 人 H社
9 過去に施工した 公共工事名及び 発注者	過去5年間（H15～H19年度）の公共工事の実績 関東地方整備局 30件 茨城県 46件 茨城県内市町村 27件 その他 21件
10 経営内容	・資本金 ：6億3千5百万円 ・従業員 ：181人 ・建設業許可：国土交通大臣許可第00006号 ・許可業種 ：土木一式、建一式、とび、電気、管、鋼構造物、 舗装、浚渫、機械器具、造園、水道工事
11 1から10までの 事情聴取した結果に ついての調査検討	・官積に対する比率は直接工事費（ユニット）85%、間接工 事費（ユニット）90%、一般管理費等49%である。業務 遂行上各経費に不足が生じた場合は、全て自社経費より捻出 することが可能である。 ・材料の調達については、長年取引のある業者より安く購入で き、労務についても協力会社により見通しが立っていること から施工体制に問題ないと判断される。 ・業績についても問題なく、これまでの経験を生かした十分な 施工が行われるものと考察される。
12 9の公共工事の 成績状況	・特に問題なし
13 経営状況	・従来どおり不開示とする。
14 信用状態	・支障なし
15 その他の必要な 事項	

総 合 評 価

当該工事で使用する材料については、長年取引関係のある業者より高品質な材料を安く調達でき、コストを低減できる。

また、当事務所管内での一般土木工事の施工実績があり、地域状況を熟知していることから、品質管理について問題ないと判断される。
--

さらに、施工体制においても体制が明確であり、ヒアリングの結果、問題ないと判断される。

業務遂行上、資金面において不測の事態が生じた場合は、自社経費から捻出が可能であり、当工事の履行は可能であると判断される。
